介護支援専門員の労働環境調査についてのアンケート結果報告

（愛媛県介護支援専門員協会平成29年度調査研究事業まとめ）

愛媛県介護支援専門員協会　調査研究班

Ⅰ. はじめに

愛媛県介護支援専門員協会(以下、県協会)は、平成28年5月の発足以来、東中南予別の研修を通して、質の向上や介護支援専門員間の情報交換などに努めているところであります。その一方で、自立支援を意識したケアプランになっていない、医療連携がなされていない等の指摘があり、一層介護支援専門員としての質の在り方が問われる事となっています。

そこで県協会では、会員の労働条件を調査し、介護支援専門員を取り巻く状況を知ることにより、業務へのモチベーションの向上ひいては業務の質の向上に活かせないかと考えました。会員の皆様から頂いたアンケート結果を基に、問題点や評価されるべき内容を抽出する事で今後、県協会運営や活動に反映させたいと考えております。又、この結果報告を皆様の各事業所におきましても是非、参考にして頂きたいと思います。

Ⅱ. 調査方法

愛媛県介護支援専門員協会会員、全員を調査対象に郵送にてアンケート用紙を配布し、封書にて回収しました。(調査期間はH30年3月中旬～H30年4月末まで)
会員数900名に対して、回答者は444名で実質回答率は49.3%でした。

本調査は、統計的に処理され、本調査の目的以外には使用しない旨の説明を行った上で同意を得ております。

Ⅲ. 調査結果概要

1. 基本情報(P5～7)

女性86%、男性14%。年代別では、40歳代～50歳代で7割を占めている。その中でも50歳代は43%を占める。

勤務する事業所別では、居宅介護支援事業所が80%、次いで地域包括支援センターで9%となっている。施設系の勤務者は6%であった。

2. 職場環境(P8～10)

助成制度について、ありと答えた事業所は65%で、その内容は、各研修に対する受講料助成がほとんどであり、次いで出張手当、交通費となっている。パソコンの貸与に関しては、11%の人はパソコンをシェアして業務しており、特に施設ケアマネに多い。利用者宅訪問手段として、公用車での訪問が84%、次いで自家用車、自転車、公用バイクとなった。中でも、自家用車と私用バイクにおいては手当なしと回答したのは48%であった。

3. 介護支援専門員について(P11～13)

介護支援専門員として従事している会員は95%であった。中でも10年以上の経験年数の人が47%となっている。介護支援専門員の資格取得理由として、業務内容に興味、関心があったからという理由が一番多く、次いで自身のキャリアアップのためとなった。

4. 主任介護支援専門員（P14）

主任介護支援専門員資格を有しているかについては、48％がありと答えた。その中で主任介護専門員手当があるかについては、16％があり、69％がなしであった。

5. 管理者（P14）

管理者については、49％に管理者手当があった。

6. 仕事に対する満足度（P15～22）

非常に満足とやや満足を合わせて60％がやりがいを感じていると回答した。労働時間においては、満足と普通を合わせておおよそ7割を超えている。これらは、管理者も管理者でないものも大体同じ評価となっている。賃金においては、非常に満足と満足、普通を合わせて43％、不満、非常に不満を合わせて47％という結果となった。管理者においては、賃金においては6割が満足と回答しているが、若年層ほど、不満の割合が高い。所属では居宅より施設の6割に近い方が満足である側に回答を寄せている。雇用形態や福利厚生などにおいては、おおよそ7割～8割が普通から非常に満足であると回答した。

7. 職場に改善してほしい内容(P22)

賃金面55％、仕事の量、質が38％、仕事に対する評価35％に次いで労働時間や休日等の労働条件等が23％であった。

8. 雇用定着で重要な条件（P23）

給与の改善が50％を占め、その他、社会的地位の向上が31％、又、介護保険制度の見直しが必要であるが29％、キャリアアップのための研修等、職場の協力体制を求める意見が23％を占めた。

少数意見として、子供がいても働きやすい環境(休みやすい等)や休日もしっかり休めるなどの連絡体制の工夫、介護報酬の引き上げなどが挙げられた。

9. 年収（P24）

200～300万円が37％、300～400万円が37％と最も多かった。400万円以上の人は15％であった。

10. 介護支援専門員の業務（P25～27）

負担を感じる業務として、制度変更に伴う対応や情報の取得、緊急時、休日の際の対応が大半を占めている。次いで医療機関、主治医との連携が挙がった。それ以外で、アセスメントやプラン作成、サービス担当者会議など、一連のケアマネジメントプロセスの業務に関する負担が挙がった。

11. その他協会への要望や意見について（P28～30）

Ⅳ．まとめ

今回の調査で、介護支援専門員の置かれている環境が浮き彫りにされた。研修受講に対しての助成はある程度の事業所で行われている。ほとんどの研修が松山市で開催されることからか、東予、南予で助成が高かった。また、施設で高くなっているのが特徴である。また、パソコンや車の貸与については業務の効率化を図るためには重要であるが、まだ十分な環境にあるとはいいがたい。給与面に関しても7割以上が400万円以下であり、ステップアップとして位置づけられている主任介護支援専門員の手当でも3割程度しかついておらず、給与面での満足度は低い。自由記載で介護職員への処遇改善加算と同様の手当てを求める声が多いのもうなずける。

その一方で、経験年数の高い介護支援専門員が多く、6割の人がやりがいを感じて業務を行っていることから、そのモチベーションを維持できる支援を協会に求めているし、協会も答えていく義務がある。

Ⅴ．終わりに

会員の皆様、日々多忙な業務の中、アンケートにご協力頂き誠にありがとうございました。行政や国に挙げるべき意見の中には、介護保険改正の中で求められるケアマネの質の向上はもとより、地域によって課題が異なり現場で立ち往生し悩むケアマネ、介護職の経験を活かしケアマネになったのにその待遇が厳しいものであるなどの意見がありました。また施設ケアマネの立場を明確にしてほしい等の意見もいただきました。この環境調査から見えてきた様々な会員の実態やニーズをどう県協会の運営に反映していくか、更にその成果が求められる事にもなります。県協会は職能団体ですが、個人会員の中で成立するものであります。会員一人一人の意見を拾い上げ、自分達にフィードバックしていくことが重要となります。

私たち介護支援専門員は、一層深刻化する超高齢社会に向けて専門性を高め、正しく介護保険を理解し、支援を行っていくことが求められており、その事実に気づくことが大切です。

県協会は、会員全員で学びあい、一歩一歩前進し、必要とされていることに向き合っていきたいと考えております。

愛媛県介護支援専門員協会

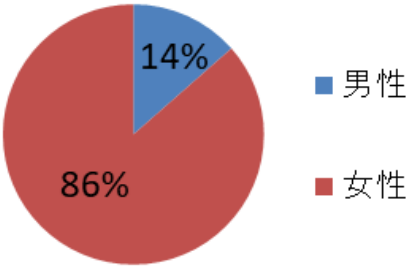
介護支援専門員の労働環境調査

アンケート回答者数：444名　　（アンケート締切日：平成30年4月30日）

1. 基本情報

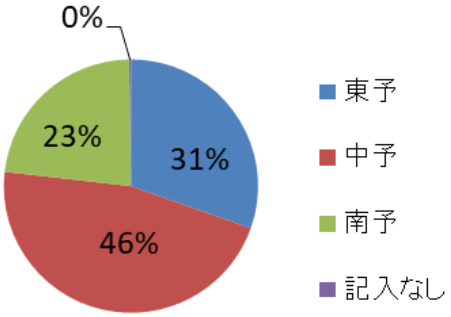
①性別

男性　60人
女性　384人



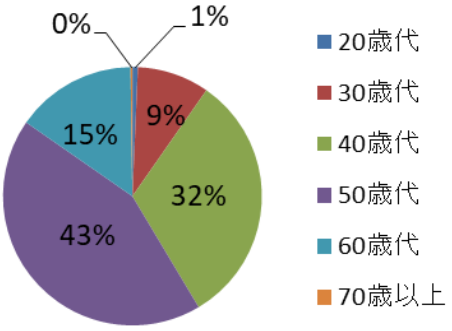
②地域

東予 135人
中予 206人
南予 102人
記入なし 1人



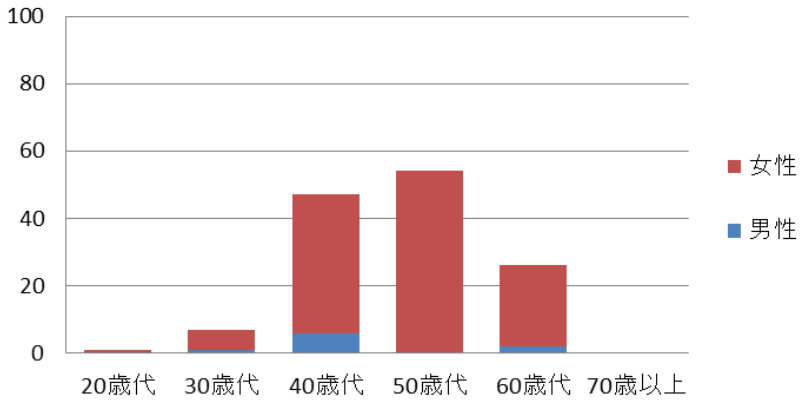
③年代

20歳代 3人
30歳代 40人
40歳代 141人
50歳代 192人
60歳代 67人
70歳以上 1人

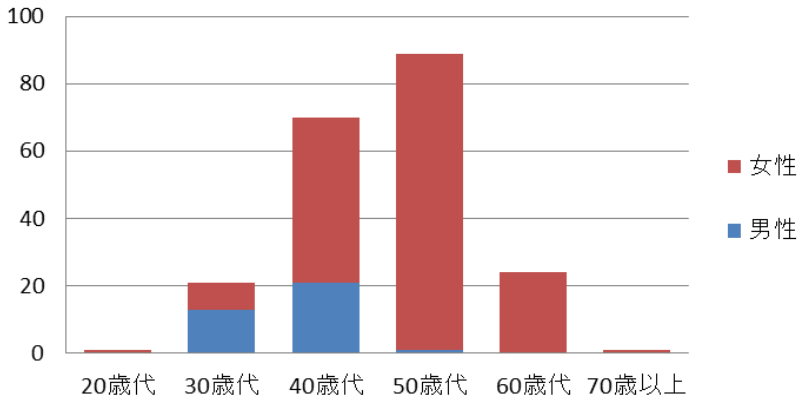


※地域別のまとめ

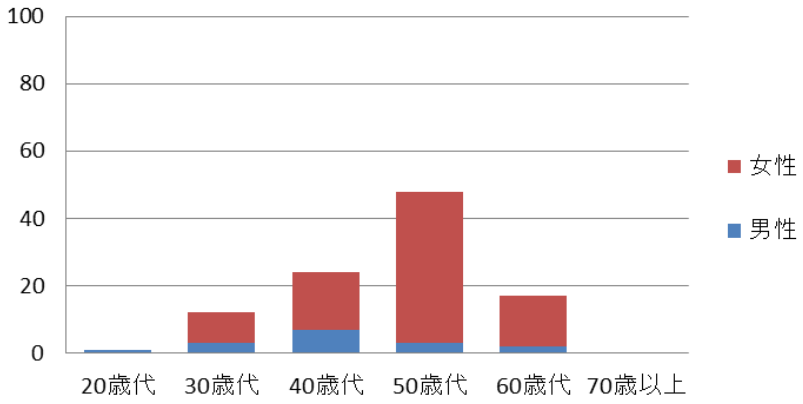
〈東予〉



〈中予〉



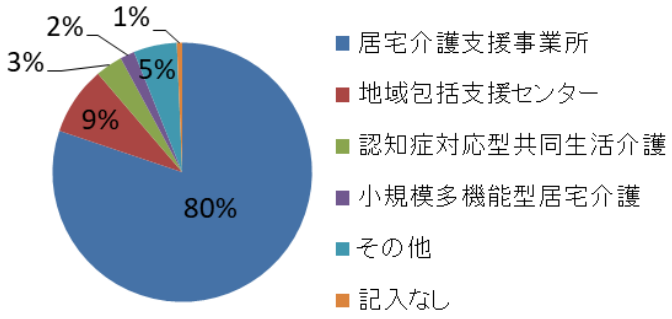
〈南予〉



地域記入なし　50代女性1名

④所属事業所の形態

居宅介護支援事業所 356人
地域包括支援センター 38人
認知症対応型共同生活介護 15人
小規模多機能型居宅介護 8人
その他 24人
記入なし 3人

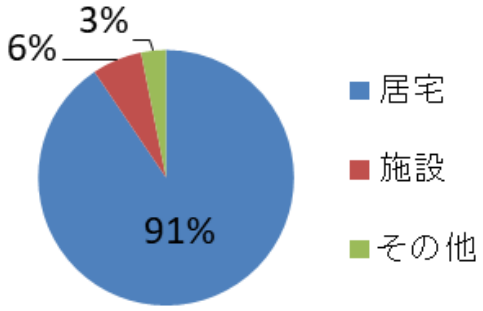


※その他所属事業所内訳詳細

介護老人福祉施設(地域密着を含む) 5人
介護老人保健施設 4人
介護療養型医療施設 4人
特定施設入所者生活介護 3人
医療機関・事務所・市役所・障害者相談・通所介護・訪問介護責任者
・有料老人ホーム・認知症対応型通所介護 各1人

※分類

居宅 402人
施設 28人
その他 14人



居宅： 居宅介護支援事業所
地域包括支援センター
小規模多機能型居宅介護

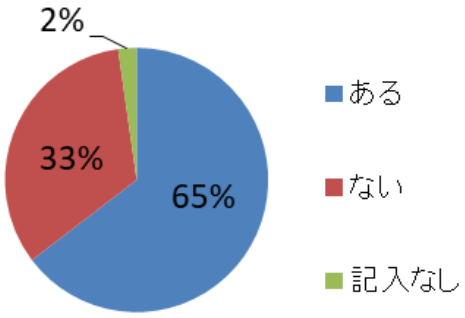
施設：認知症対応型共同生活介護
介護老人福祉施設(地域密着を含む)
介護老人保健施設
介護療養型医療施設

(その他には記入なしも含む)

2．職場環境

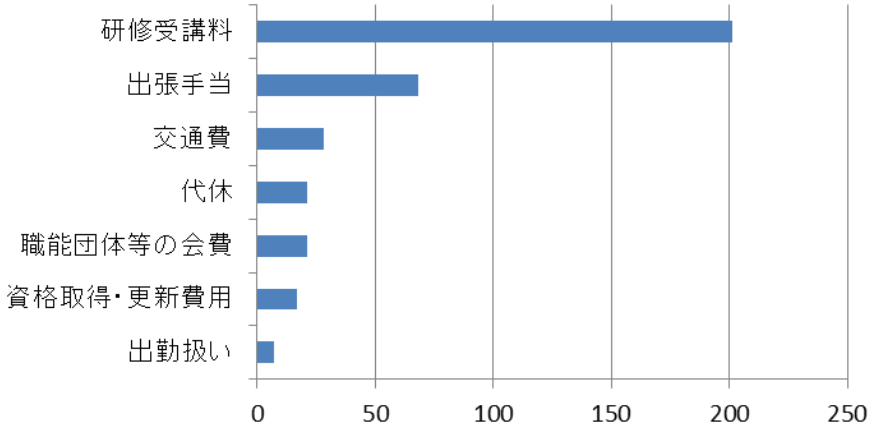
①助成制度

あり 287人
なし 147人
記入なし 10人

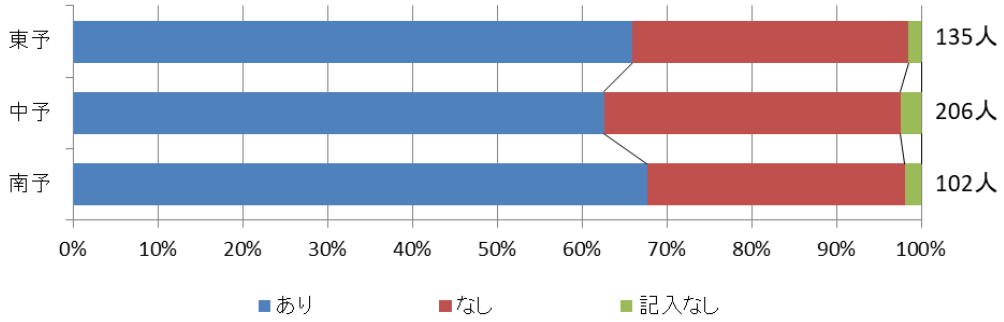


※助成制度の内容

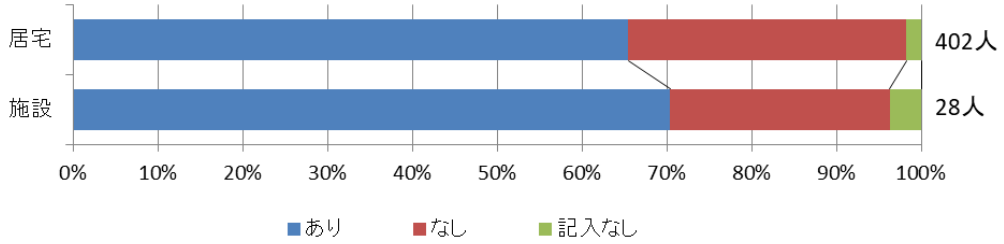
各種研修受講料助成 201人
出張手当 68人
交通費支給 28人
代休制度 21人
職能団体等の会費 21人
資格取得・更新のための費用助成 17人
出勤扱いになる 7人



※地域別の助成制度の有無の割合



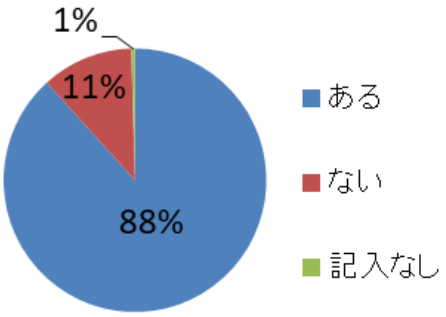
※所属事業所別の助成制度の有無



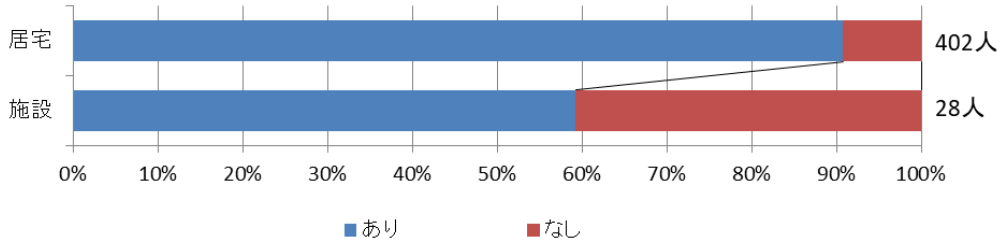
②パソコンの貸与

※1人1台のパソコンがあるか

あり 392人
なし 50人
記入なし 2人



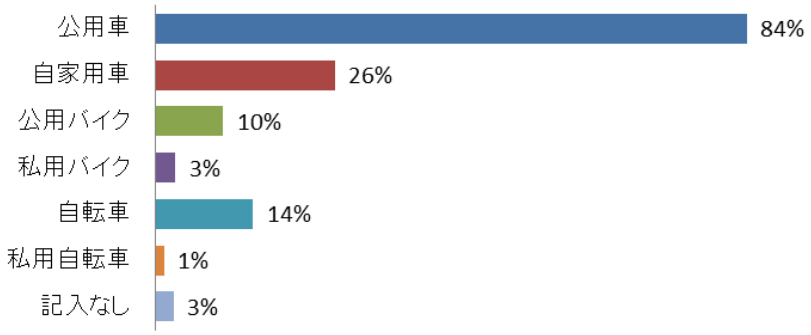
※所属別のPC状況



③利用者宅への訪問手段について

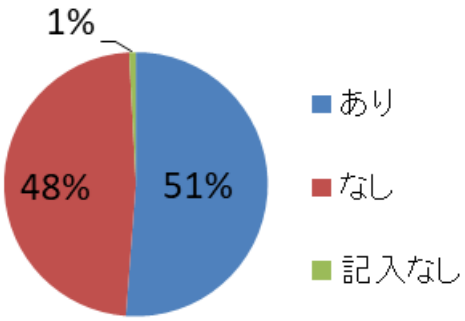
⑴訪問手段

公用車 375人
自家用車 114人
公用バイク 43人
私用バイク 13人
自転車 62人
私用自転車 6人
記入なし 2人



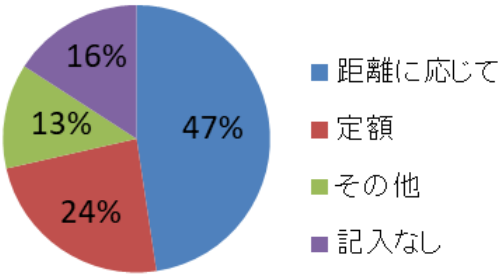
⑵手当(自家用車・私用バイクの人のみ)

あり 63人
なし 59人
記入なし 1人



※手当の支給形態について

距離に応じて 30人
定額 15人
その他 8人
記入なし 10人



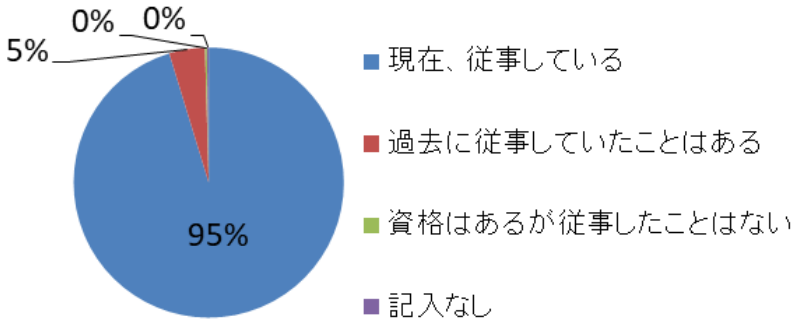
※その他詳細

ガソリンの量に応じて 7人
車検代支給 1人

3.介護支援専門員について

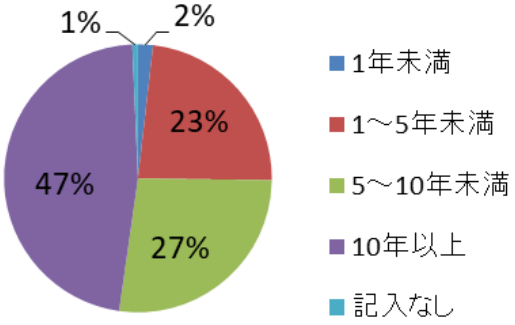
①従事経験

現在、介護支援専門員の仕事に従事している 423人
現在は、介護支援専門員の仕事に従事していないが、
過去に従事したことがある 19人
介護支援専門員の資格はあるが従事したことはない 1人
記入なし 1人



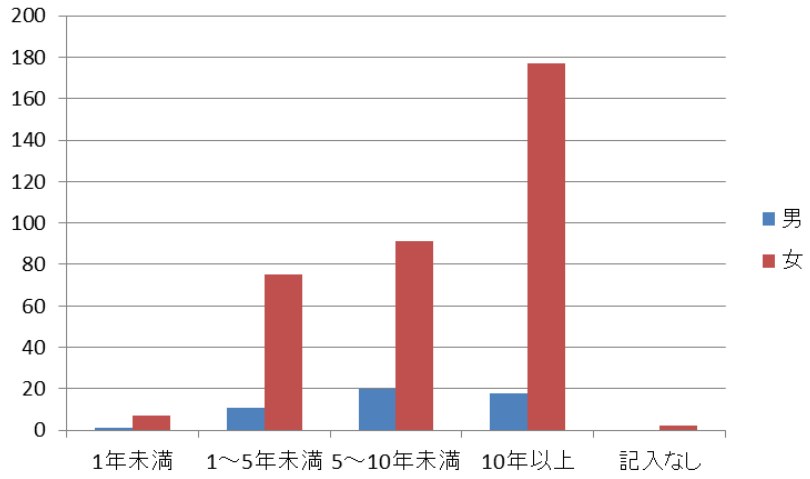
②経験年数

1年未満 8人
1～5年未満 104人
5～10年未満 120人
10年以上 209人
記入なし 3人

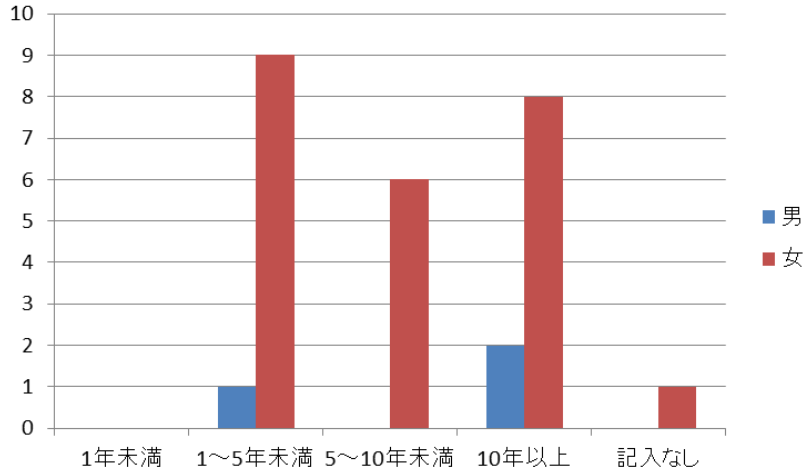


③所属事業所ごとの男女別の介護支援専門員の経験年数

※居宅(402人)

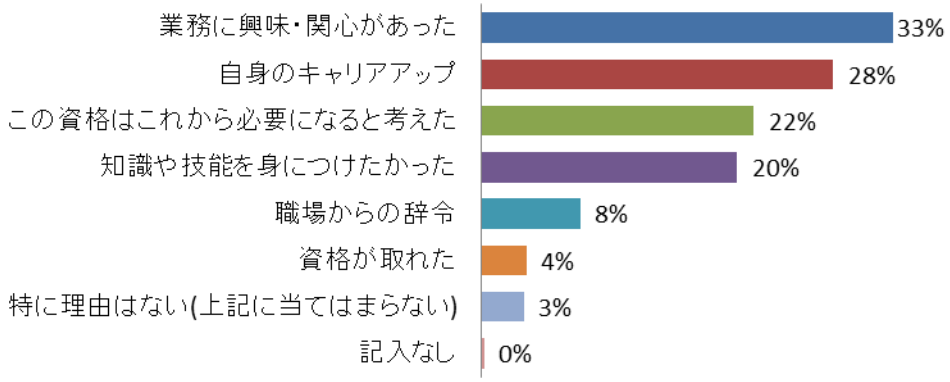


※施設(28人)



④介護支援専門員の資格を取った理由（複数回答）

介護支援専門員の業務に興味・関心があったから 145人
自身のキャリアアップのため 124人
この資格はこれから必要になると考えたから 96人
知識や技能を身につけたかったから 90人
職場からの辞令のため 35人
資格がとれたから 16人
特に理由はない(または、上記の理由に当てはまらない) 15人
記入なし 1人



⑤所属先ごとの介護支援専門員の人数

常勤:平均4.1人
非常勤:平均0.38人

常勤換算合計:平均4.3人（記入なし12人）

※居宅に限った人数

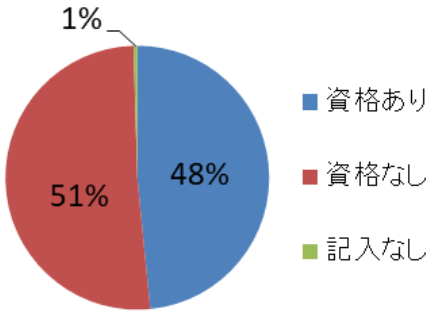
常勤:平均4.3人
非常勤:平均0.37人

常勤換算合計:平均4.6人（記入なし10人）

4.主任介護支援専門員資格について

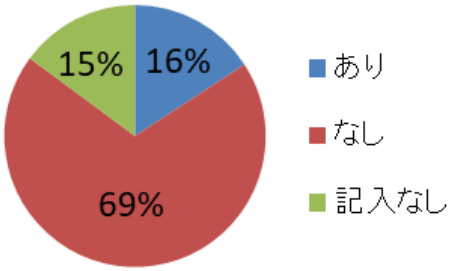
①資格の有無

資格あり 215人
資格なし 227人
記入なし 2人



②手当

あり 34人
なし 149人
記入なし 32人

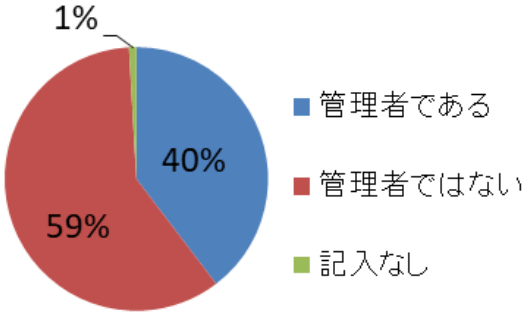


※手当金額　平均約9433円

5.管理者について

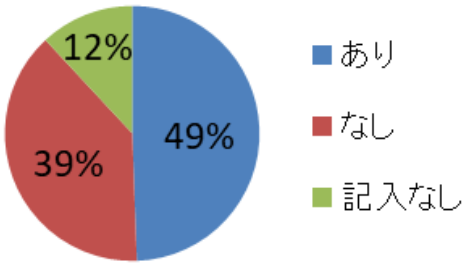
①管理者であるか

管理者である 176人
管理者ではない 264人
記入なし 4人



②手当

あり 87人
なし 68人
記入なし 21人

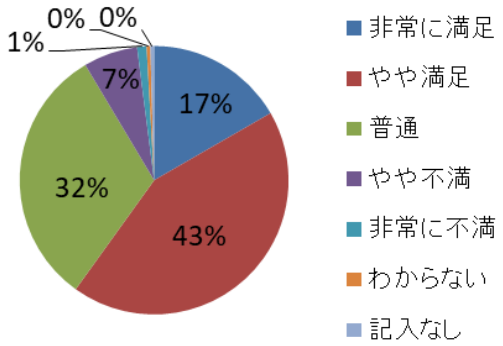


※手当金額　平均約17993円

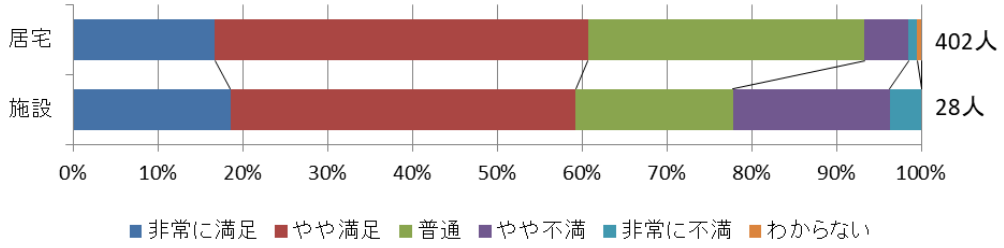
6.現在の仕事に対する満足度調査

①仕事の内容・やりがい

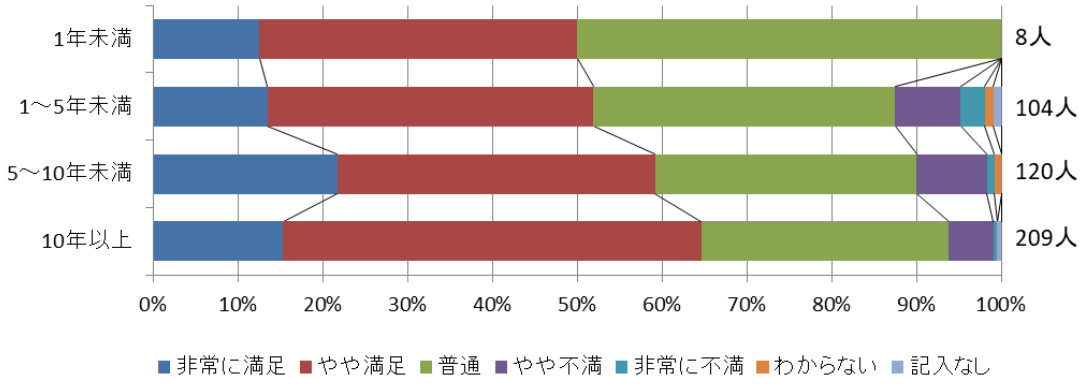
非常に満足 74人
やや満足 192人
普通 140人
やや不満 29人
非常に不満 5人
わからない 2人
記入なし 2人



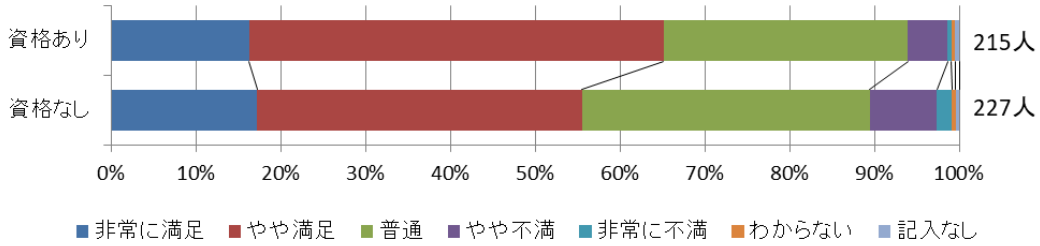
※所属別



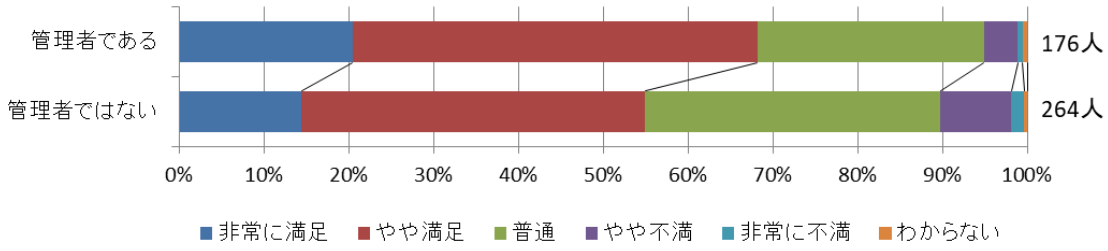
※経験年数別



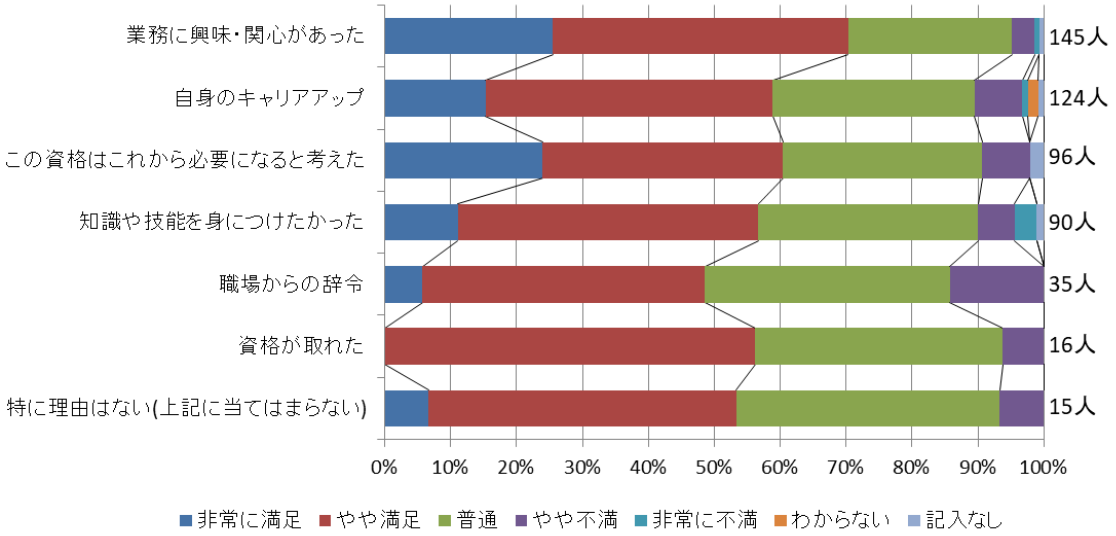
※主任介護支援専門員資格の有無別



※管理者であるかどうか別

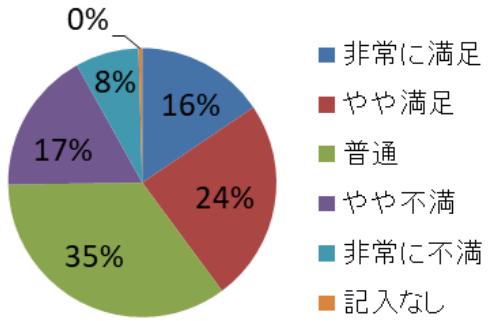


※介護支援専門員の試験を受けた理由別

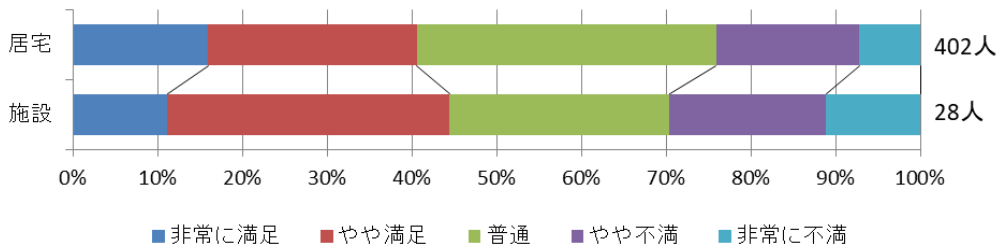


②労働時間・休日等の労働条件

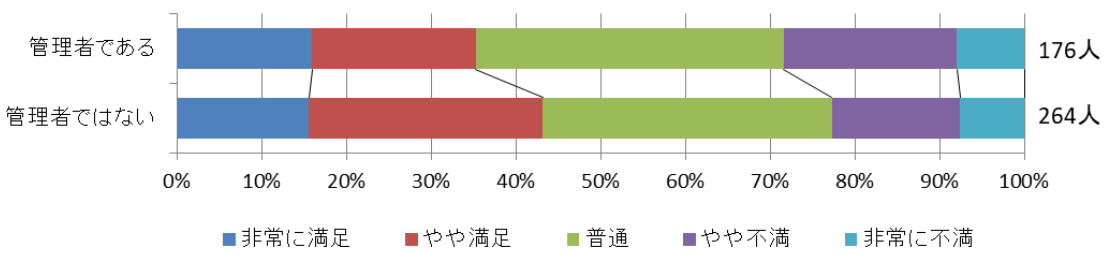
非常に満足 69人
やや満足 108人
普通 155人
やや不満 76人
非常に不満 34人
わからない 0人
記入なし 2人



※所属別

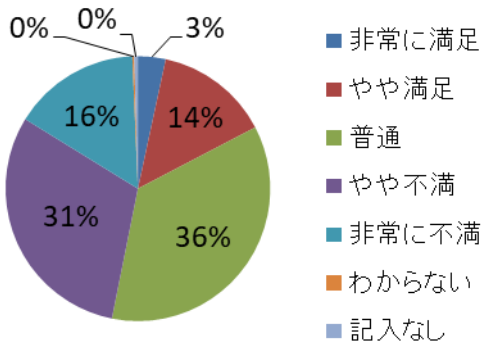


※管理者であるかどうか別

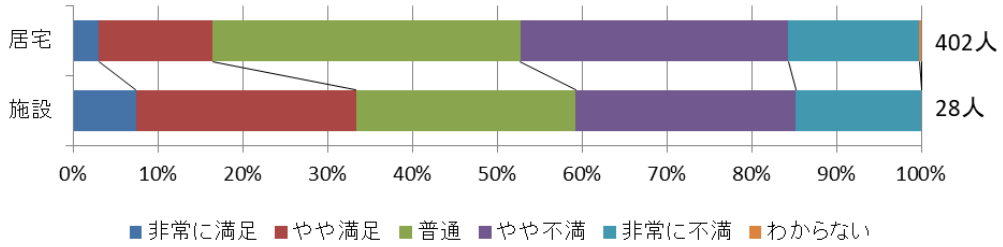


③賃金

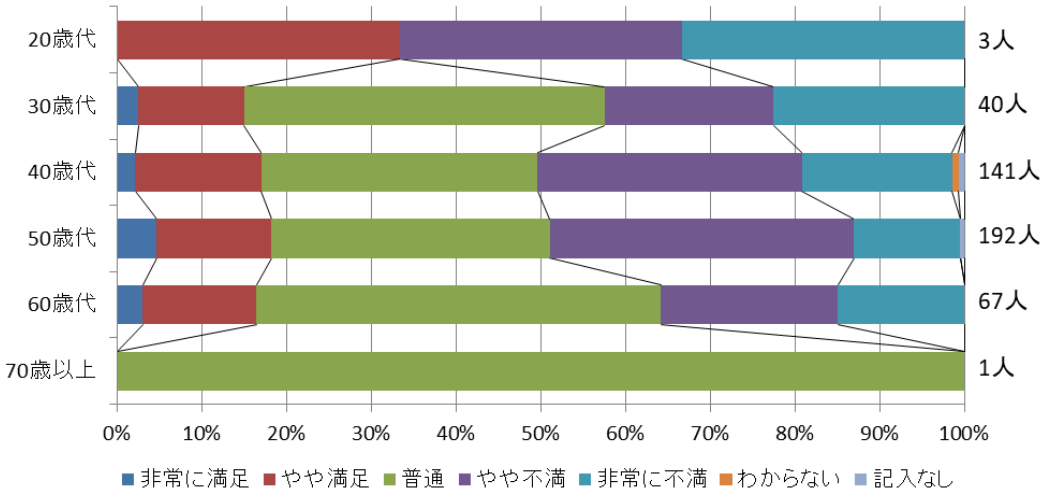
非常に満足 15人
やや満足 62人
普通 159人
やや不満 136人
非常に不満 69人
わからない 1人
記入なし 2人



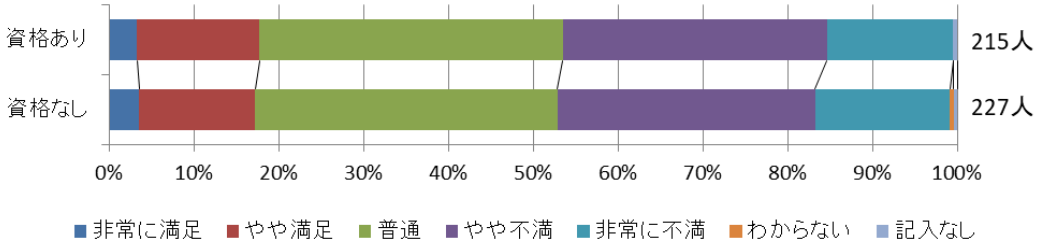
※所属別



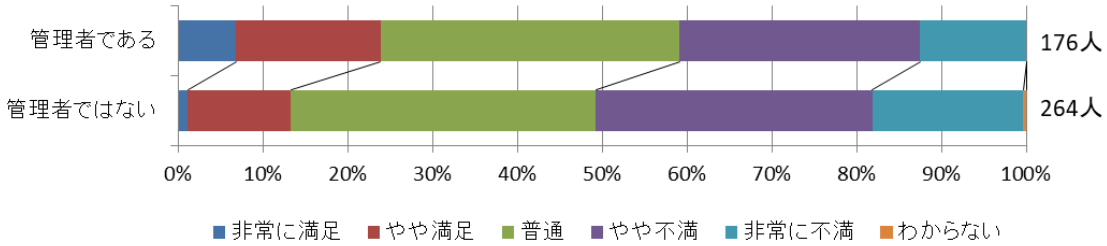
※年代別



※主任介護支援専門員資格の有無別

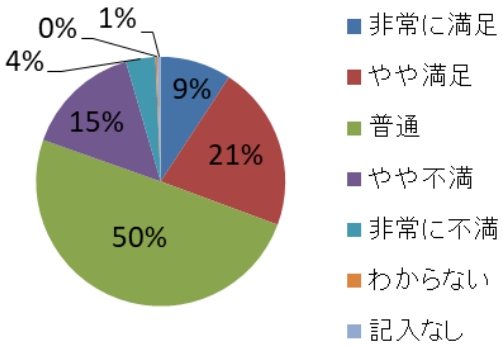


※管理者であるかどうか別



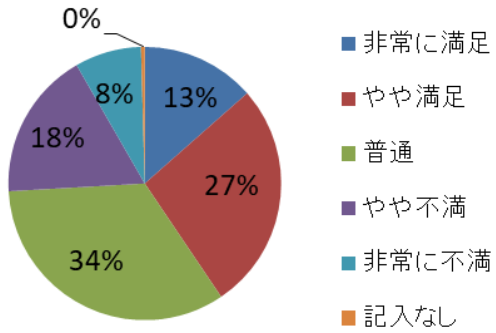
④勤務体制

非常に満足 41人
やや満足 95人
普通 221人
やや不満 67人
非常に不満 17人
わからない 1人
記入なし 2人

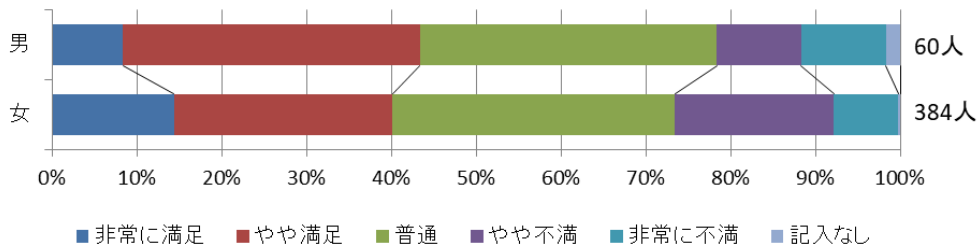


⑤職場の環境

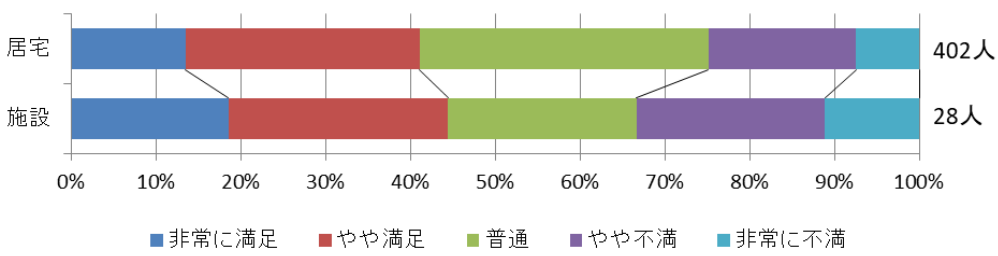
非常に満足 60人
やや満足 120人
普通 149人
やや不満 78人
非常に不満 35人
わからない 0人
記入なし 2人



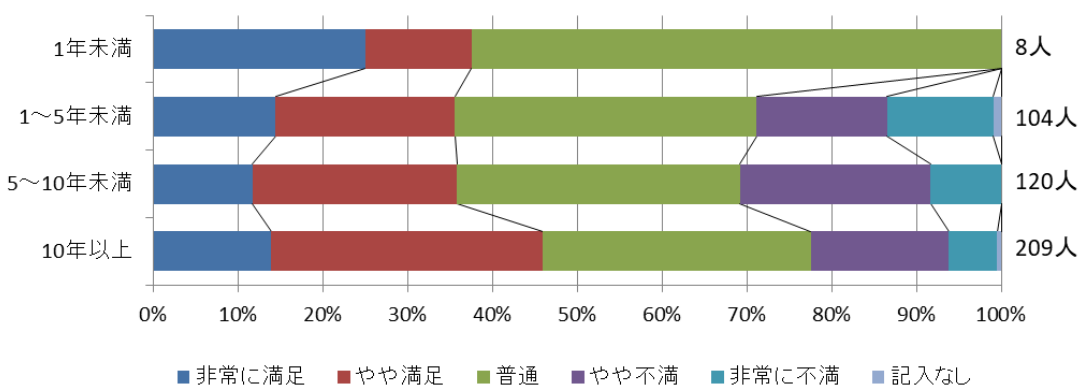
※男女別



※所属別

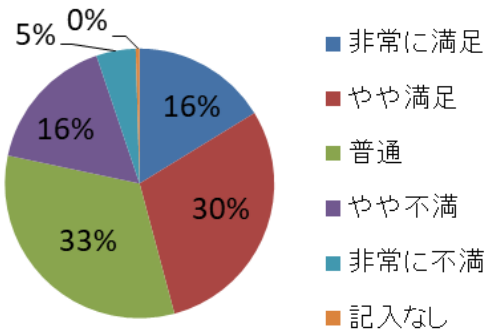


※経験年数別

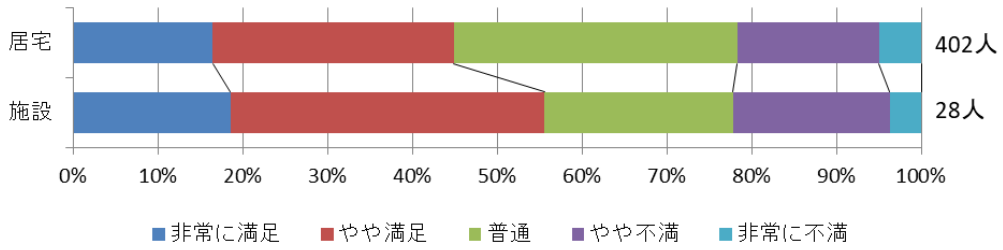


⑥職場の人間関係

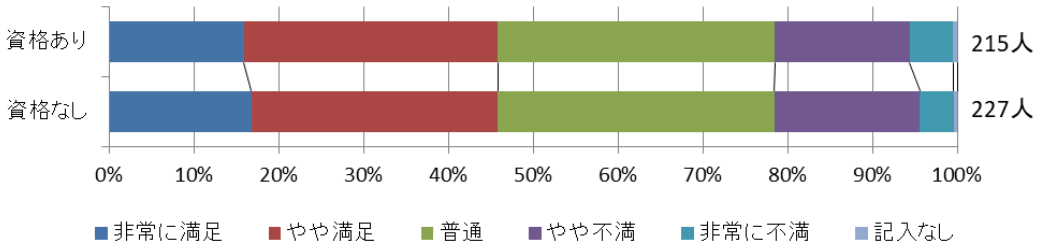
非常に満足 72人
やや満足 131人
普通 144人
やや不満 73人
非常に不満 21人
わからない 0人
記入なし 2人



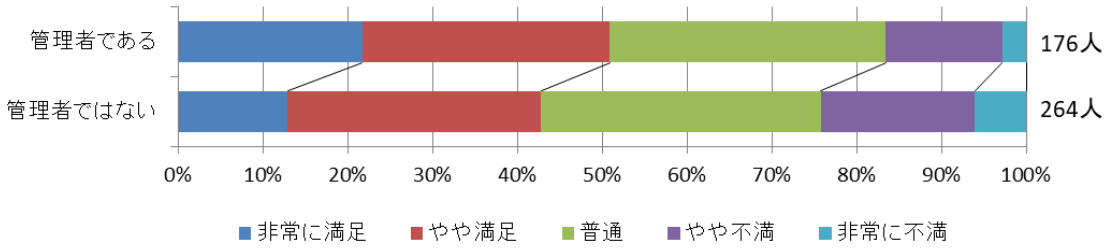
※所属別



※主任介護支援専門員資格の有無別

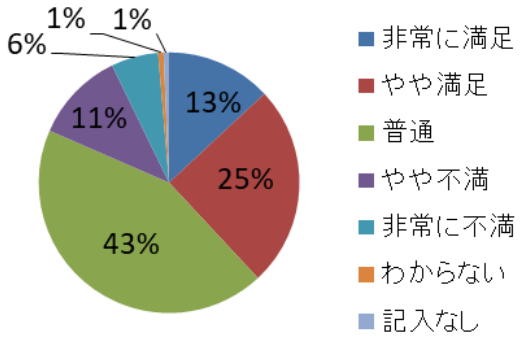


※管理者であるかどうか別



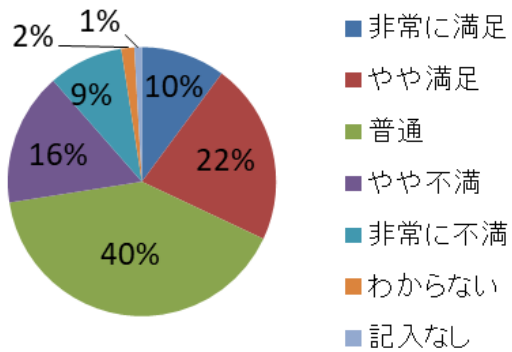
⑦雇用の形態

非常に満足 58人
やや満足 111人
普通 193人
やや不満 50人
非常に不満 26人
わからない 3人
記入なし 3人



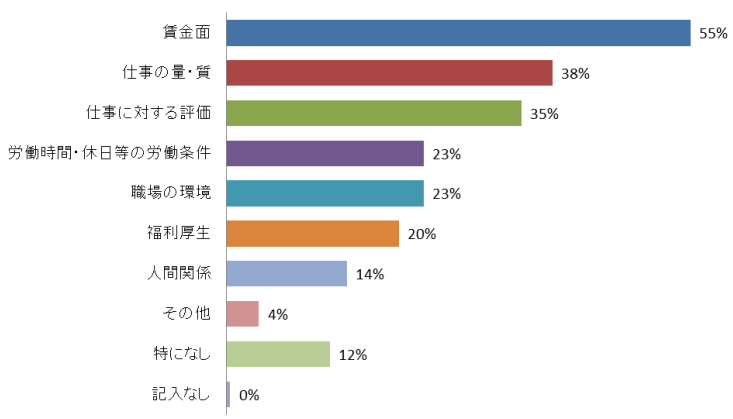
⑧福利厚生

非常に満足 45人
やや満足 97人
普通 180人
やや不満 71人
非常に不満 40人
わからない 7人
記入なし 4人



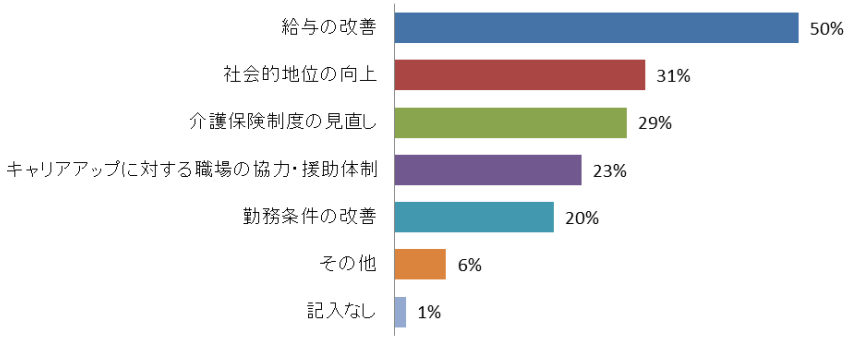
7.現在の職場に改善してほしいこと(複数回答)

賃金面 242人
仕事の量・質 170人
仕事に対する評価 154人
労働時間・休日等の
労働条件 103人
職場の環境 103人
福利厚生 90人
人間関係 63人
その他 17人
特になし 54人
記入なし 2人



8.介護支援専門員の雇用定着のために必要・重要なこと(複数回答)

給与の改善 221人
介護支援専門員の社会的地位の向上 137人
介護保険制度の見直し 127人
介護支援専門員のキャリアアップ(資格取得・研修等への参加等)
に対する職場の協力・援助体制 102人
勤務条件の改善 87人
その他 28人
記入なし 6人



※その他詳細

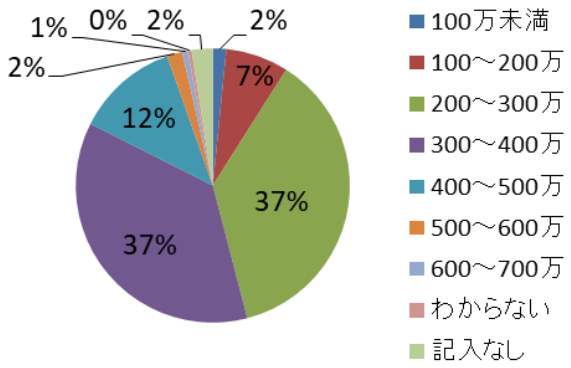
仕事量の削減(書類作成・業務外の仕事等) 10人
周囲の理解の向上 4人
資格取得・更新制度の簡素化 3人

以下少数意見

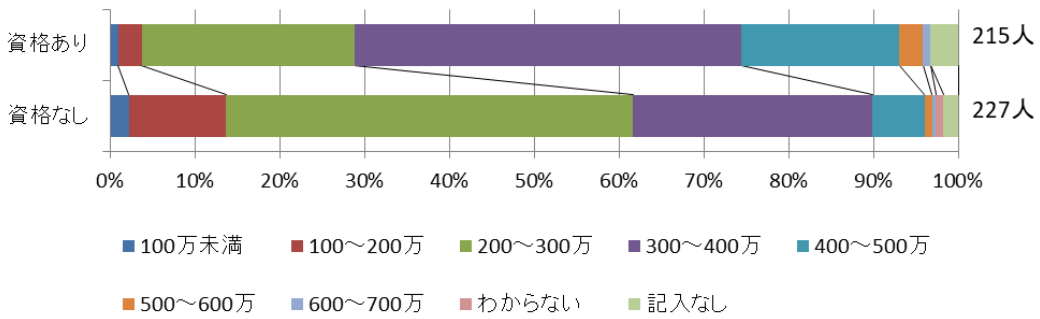
- 子供がいても働きやすい(休みやすい)環境
- 休日にきちんと休めること
  (利用者からの問い合わせや連絡の対応について工夫が必要)
- 介護報酬の引き上げ
- 職場環境の改善

９.年収(総支給額)　※非常勤含む

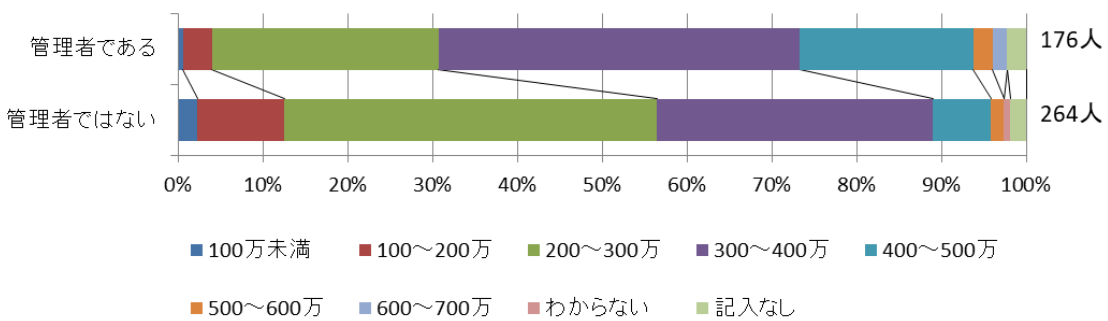
100万未満 7人
100万以上200万未満 33人
200万以上300万未満 164人
300万以上400万未満 162人
400万以上500万未満 54人
500万以上600万未満 8人
600万以上700万未満 3人
700万以上 0人
従事機関が1年未満でわからない 2人
記入なし 11人



※主任介護支援専門員資格の有無別

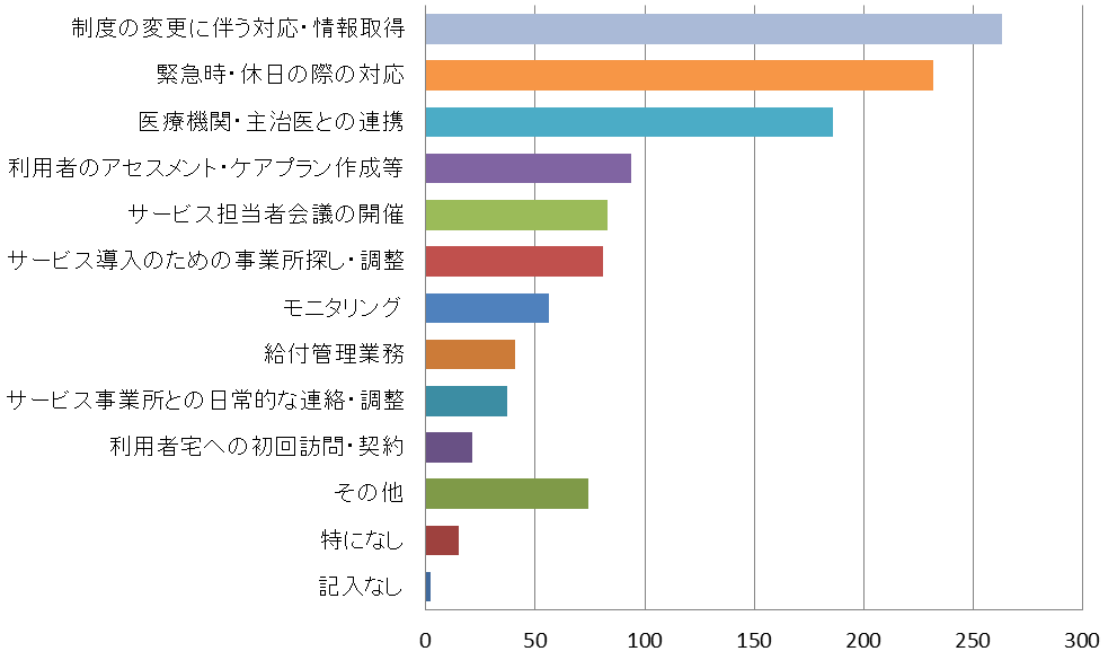


※管理者であるかどうか別

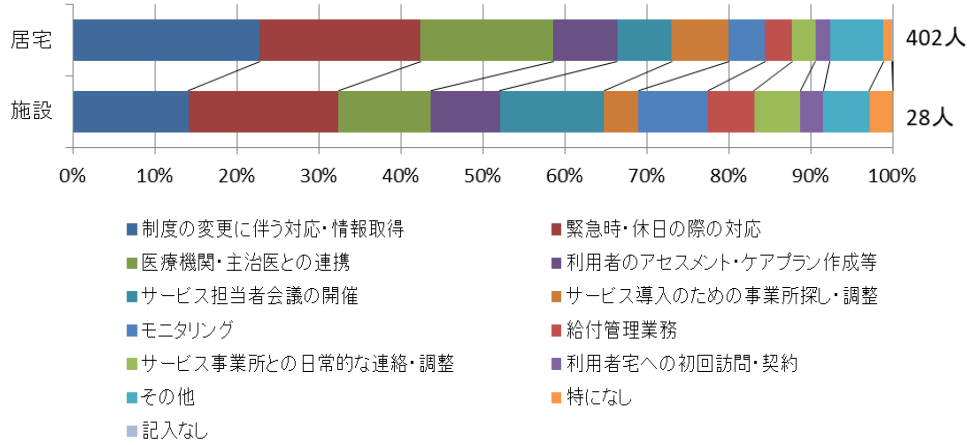


10.介護支援専門員の業務を行うにあたって負担に感じるもの(複数回答)

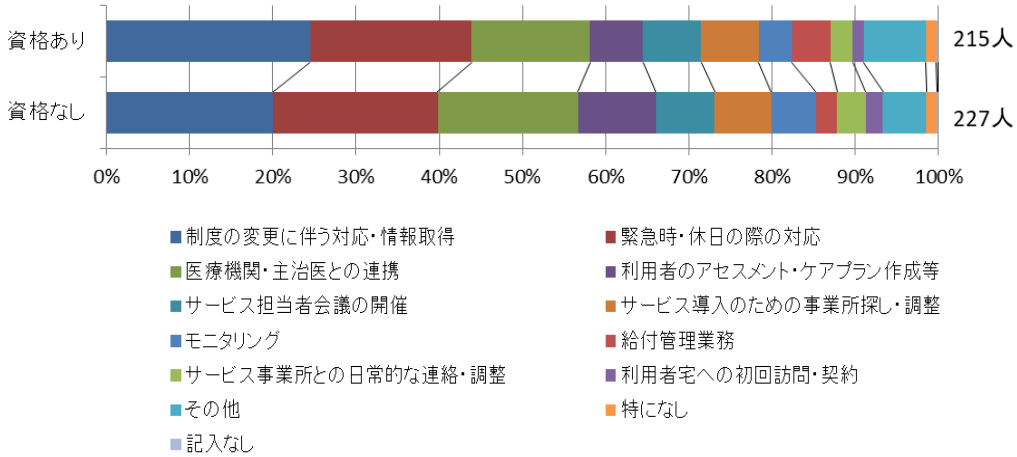
制度の変更に伴う対応・情報取得 263人
緊急時・休日の際の対応 232人
医療機関・主治医との連携 186人
利用者のアセスメント・ケアプラン作成等 94人
サービス担当者会議の開催 83人
サービス導入のための事業所探し・調整 81人
モニタリング 56人
給付管理業務 41人
サービス事業所との日常的な連絡・調整 37人
利用者宅への初回訪問・契約 21人
その他 74人
特になし 15人
記入なし 2人



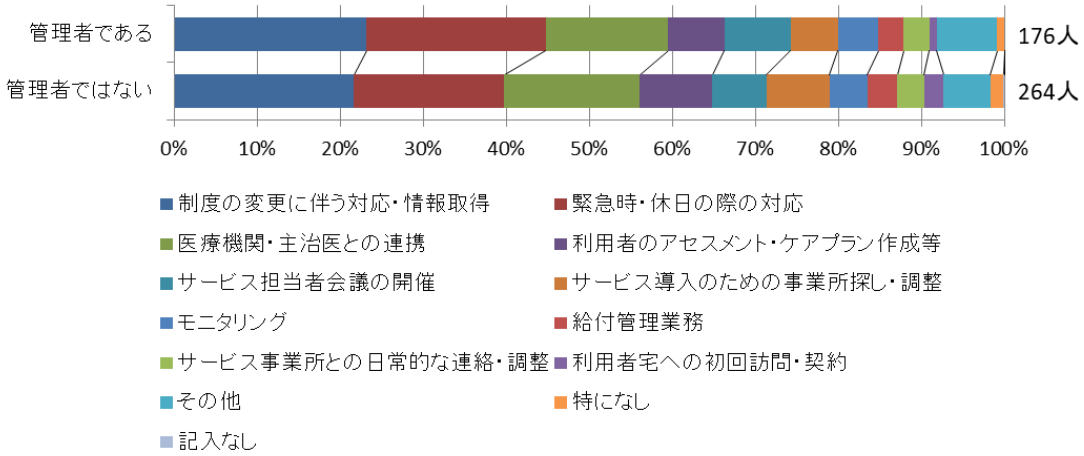
※所属別



※主任介護支援専門員資格の有無別



※管理者であるかどうか別



※その他詳細

書類作成等の事務作業が多い 37人
業務外の仕事が多い 2人
利用者・利用者家族への対応 12人
同じ職場にケアマネがいない(ケアマネ業務について相談できる人がいない) 2人
職場の協力が足りない 2人
複雑化する介護保険制度への対応 2人
困難事例の対応 2人
基本的なことができていない事務所の増加 2人

以下少数意見

- 各種費用負担
- 多忙のため時間が足りない
- 医療依存度の高い人への関わり。レスパイト入院調整や障害福祉等との調整。
- 地域の社会資源の活用発掘
- 包括主催の研修の計画、立案
- ケアマネの後方支援
- プランナー以外の課題業務
- 認定結果の遅れによる暫定プランの作成
- トラブル時の対応
- 多様なサービス変更への対応
- ルールが守られていないことへの対応
- 地域ケア会議
- 職員の育成
- 認定調査
- 業務全てが負担

11.愛媛県介護支援専門員協会への要望・意見等

①研修内容や会場について

- 介護保険制度について新しい情報をできるだけ早く理解できるように講演等してほしい。業務内容やコミュニケーション能力のスキルアップにかかわる勉強等してほしい。実務内容を具体的に理解できるグループワークをしてほしい。
- 居宅中心の研修ばかりなので、施設や他の事業所所属CMの研修もしてほしい。
- 研修を定期的に行ってほしい。
- もっと役立つ、楽しく元気の出る研修。矢川さんお体大切になさってください。
- 給与の改善
- 記録、簡略化が進めばよいと思っています。モニタリング等
- ケアマネの処遇・待遇の改善ができますよう、お願いします。
- 南予(宇和島)での、研修会開催をお願いします。(松山までは、泊まりや1日がかりになるため)
- ケアマネとして重要なところの研修を企画していただき、情報収集している。他の事業所のケアマネと情報交換もでき楽しみにしています。
- 超高齢化の時代、またはこれからの若い方たちの育成について変化する時代について行けるような研修会の開催をお願いしたい。
- 研修会は公共機関を利用しても参加しやすい便利な場所で開催してほしい。仕事(復職等)や資格更新について、相談・支援を行う窓口があればよいと思う。

- 研修会場が中予地区がほとんどなので東予地区でもしていただけると参加しやすいです。
- 役員の方、大変お世話になります。色々な準備等、いつもありがとうございます。H29年度初めのハグニティの講演、大変良かったです。あのような感銘受けるような講演や、他県の先進的な斬新な取組等聞いてみたいです。これからもよろしくお願いいたします。
- 研修地が中予が多く、遠方の人は大変です。
- ケアマネジャーのスキルアップに伴う研修会をお願いしたい。医療機関との連携などケアマネジャーが動きやすい環境になるように働きかけてほしいです。
- 研修をできるだけ近くの会場でしてほしい(東予地区)
- サービス担当者会議をどのように皆さん開催しているのか知りたいとともに、研修等ありましたら受講したいです。
- 研修の充実
- 施設ケアマネに対する、学びの場の提供をお願いします。
- 色々な研修、企画をしていただいてありがとうございます。研修日は、土日以外でも企画していただければと思います。
- ケアマネは研修計画が位置付けられているため、年4回以上は研修に参加できるよう企画してほしいです。(特定事業所加算を取っている事業所です)
- もっと有意義な研修をお願いします。
- 特にありません。今後も研修会・勉強会の計画をお願いします。

②国に挙げるべき意見

- 認知症対応型共同生活介護でのケアマネの立場を明確にしてほしい！！
- 給与の改善
- 介護支援専門員の処遇改善や業務に専念できる体制づくりをお願いしたいです。
- 記録、簡略化が進めばよいと思っています。モニタリング等
- 介護職員の処遇は改善され見直されるが、同じく介護支援専門員も改善してほしい。が、利用者負担増で改善されるとさらに精神的負担が大きくなるが……。
- ケアマネの意見を吸い上げて、県の声として届けてほしい。現場に即した研修(成澤さん)などしてほしい。タイムリーな研修。
- 判断しにくい支援内容や様式等の統一化で少しでも県CM全体の仕事の簡素化が図られればありがたい。どんどん仕事量が増えるばかりです。またCMの国家資格化を進めてほしいと思います。
- 難しいとは思いますが、全国でケアマネの業務が統一できるようお願いします。
- ケアマネの担当件数を20名までにしてほしい。
- 主任ケアマネに対して求められることが多すぎて、かなり負担になります。受け持ち人数も考慮されなければ、無理だと思います。私はもう更新しません……。
- ケアマネの処遇・待遇の改善ができますよう、お願いします。
- 介護職に対しての処遇改善は進んでいるが、その介護職の経験を得てケアマネを取得し、結果給料が下がるのが現実。居宅も独立採算が難しいのが現状。
- 現場の意見をまとめ、国や関係機関へ訴えて、問題点等を改善していってほしいと思います。

③行政や他団体に求めること

- 医療系サービスの必要性について主治医(連携室や外来)に文書等で依頼・相談しても介護保険について理解してもらえず、ばかにされたり、書類代金請求を求められたりする。連携の大切さや必要性は十分理解しているがそれを相手が理解できていないケースもまだまだ多く対応に困ったり業務に支障が出たりする。医療機関への周知やCMの社会的地位の向上に向けた取り組みをお願いしたいです。
- 社会的評価向上に向けたソーシャルアクション(Nsのような)
- 医療との連携・Drとの情報のやり取りがさらに必要と言われています。Drとのやり取りがスムーズにできる体制づくりをしてほしい。(共通の文書様式やDrへの周知)
- 行政からのケアプランチェックと、介護支援専門員研修で学ぶことが違うこと。
- 介護支援専門員の地位向上のために頑張ってほしい。
- 地域包括ケアシステムについて。ケアマネジャーの役割と具体的に協会の考えを聞かせていただきたいと考えています。
- 地域によって課題が異なり、支援にも限りがあると思います。結果、施設入所を選抜しなければならない環境が改善されないこと等に対して行政に働きかけられるような組織として連携できればありがたいです。
- 県内各地域の介護支援専門員団体との連携、統合

④愛媛県介護支援専門員協会へのエール

- とにかく応援しているので頑張ってください。
- 今後ともよろしくお願いします。
- いつも研修会等の企画、ありがとうございます。
- 研修をできるだけ近くの会場でしてほしい(東予地区)
- 研修、演習などありがとうございます。なかなか参加ができておりませんが、本年度は出来る限り参加させていただこうと思います。
- いつもありがとうございます。
- 今後ともよろしくお願いいたします。
- 今後ともよろしくお願いします。
- なかなか参加できないこともありますが、今後もよろしくお願いします。
- 定期的な研修の企画・開催ありがとうございます。なるべく参加させていただき、スキルアップに努めます。
- 応援しています。職能団体として、モラルの向上や知識や技能の向上はもちろんですが、楽しく、前向きになるといいなあと思います。
- 専門性の高い研修をいつもありがとうございます。本当にお世話になります、感謝です。
- いつもありがとうございます。これからも勉強していきたいので、よろしくお願いいたします。
- いつもありがとうございます。
- いつもしっかり指導をしていただき、他県に負けず、全国レベルの知識を維持しています。感謝です。
- 関心のある内容について適宜研修テーマとして取り上げていただき、いつも研修や講演会が楽しみです。